

## 平成18年度第3回技術開発推進専門部会（含、EDP直前会議）議事録

日 時：2006年12月5日（火） 14：00～17：45

場 所：JAMSTEC東京連絡所 セミナー室A

### <出席者>

技術開発推進部委員：木下正高・福井学・伊藤高敏・許正憲・市川祐一郎

EDP 委員：中田晴弥・武村貢・福原政文・森田信男・新井雄正(代理出席者)

オブザーバー：増田昌敬

J-DESC 執行委員担当：山田泰広（孔内計測WG リエゾン）

CDEX：磯崎芳男・伊藤久男・小橋素己・小林照明・樋口和敬

事務局：山田泰・長橋徹・加賀谷一茶

### <欠席者>

技術開発推進部委員：遠藤立樹・唐澤廣和・佐野修・篠原雅尚

EDP 委員：荒戸裕之・鈴木英之・手塚和彦

### <議題>

1. EDPメンバーの交代等（木下）
2. 次回EDP Agendaへの対応（木下・増田）
3. CDEXにおけるEDの進捗状況など（伊藤）
4. IO共通で推進する技術開発要素（CDEX）
5. その他

### <資料>

資料3-1 ローテーション表

資料3-2 CDEXにおけるEDの進捗状況など

### 当日配布資料

- ・ CDEX Technology Roadmap
- ・ EDP Technology Roadmap 表
- ・ EDP Technology Roadmap 詳細版（一部を除いて会議後に回収）
- ・ EDP Proposal Process（会議後に回収）
- ・ EDP Consensus（抜粋：06-06-7）
- ・ EDP Agenda（項目のみ）

## 報告事項

1. 議事次第, 配付資料の確認

## 議事内容

### 1. EDP メンバーの交代等

- ◆ EDP 増田委員の退任に伴い森田信男氏が後任として選出され IODP-MI へ推薦された。
- ◆ 次回 EDP ニューヨーク会議を欠席される鈴木委員の代理として、新井雄正氏が選出され、IODP-MI へ推薦された。
- ◆ CDEX と Schlumberger の契約により、福原委員が COI に抵触する恐れがあったが、福原委員が同社ロシア支店勤務のため、COI には当てはまらないという IMI の認識に基づき、委員を継続することになった。
- ◆ EDP 副議長候補については、IODP 部会執行部から SPC に対して問題がないかどうか、正式に聞いてもらう (SASEC の話は聞いているが、我々としては COI にあたらないと思われる)。
- ◆ 市川委員、手塚委員の後任候補選出について、引き続き検討を行う。

### 2. 次回 EDP Agenda への対応

- ◆ 前 EDP 会議(ドイツ)にて作成された EDP Technology Roadmap 1.0 の確認を行った(下記)。
- ◆ EDP Proposal Process - USFY09 の提案から採用される正式のプロセス。4/15 締め切りだが、その前に IODP-MI と「相談」することになっている。提案者は IO に限らないが、IO が提出するものとサードパーティが提出するものに別れ、予算規模によっても分かれる。複数年の提案であっても毎年提出することになる。EDP 委員はこれを読み、MI に対して recommendation を提出する(次々回 EDP にて)。
- ◆ FY06-07 の ED の状況のレビュー
- ◆ FY08 の状況のレビュー
- ◆ 報告事項の SODV Update に対し、ちきゅう Update を行うべきである。

### 3. Technology Roadmap への対応

- ◆ CDEX ranking 08 の EDP カテゴリーに挙げられている 6 項目に、Development of borehole stress estimation technique を追加し 7 項目とする。
- ◆ ALL カテゴリーで挙げられている項目については、Develop する観点で見直しを行う。
- ◆ 本ロードマップは、EDP 会議でのプレゼン等で、効果的なアピールをするべきである。
- ◆ 本ロードマップ作成にあたり、J-DESC の科学計測、科学推進の各専門部会等の意見(機器開発のニーズ)を伺うべきである。
- ◆ 各項目のコストについて、別添資料を制作する。
- ◆ 堆積物中の間隙圧測定プローブの開発は大変重要であり、EDP 議長の Flemings が開発した T2P が有望であると思われるが、今回の EDP のトップ 10 項目に載っていない。掲載すべきである。

### 4. CDEX における ED の進捗状況など

- ◆ 長期構内計測の実記開発フェイズ委託について、IODP-MI と FY2007 の契約を最終準備中である。
- ◆ 本研究成果の帰属については、NSF ルールが適応される。
- ◆ FY2007、2008、2009 に渡りシステム開発を行う予定である。FY2008 については、今度の EDP 会議にて CDEX が提案を行う。
- ◆ EDTF より指摘されている Telemetry System の開発体制と積算根拠の明示については、対応を行っている。

## 5. IO 共通で推進する技術開発要素

- ◆ CDEX は、本件について 10 月に各 IO と打ち合わせを行っている。次回 EDP 会議の直前にも再度行う予定である。

====

### 提言

#### R 技術-06-3-1 (Technology Roadmap)

CDEX の技術開発目標アイテムのうち、CDEX から提案された 7 項目は、EDP の TR としても適当である（予算が適当；プラットホーム間で共有可能）と提言する。

\*Development of LWC/MWC

\*Improvement of expandable casing system

\*Development of anti-contamination coring system (gel core barrel)

\*Development of microorganisms culture system onboard

\*Development/Improvement of hole experiment (pore pressure probe at soft sediment)\*\*

\*Development of borehole stress estimation technique (for borehole stability)

\*Telemetry system

上記\*\*の項目は EDP のトップ 10 に掲載されていないので、掲載すべきと提言する。

#### R 技術-06-3-2 (ED 提案提出の案内)

EDP で募集する ED の USFY09 提案の募集締め切りが今度の 4 月 15 日である。日本の科学・技術者コミュニティに対し、J-DESC の枠組みを通じて広く周知し、応募を呼びかけることを提言する。

#### R 技術-06-3-3 (次々回開催地)

次々回の EDP 開催を日本で行う。その時期は（株主総会の関係もあり）2007 年 7 月、場所は JAPEX の技術研究所を提案する（武村 EDP 委員からの提案；JAPEX で内諾済？）。

### アクションアイテム

#### A 技術-06-3-1

（執行部山田）執行部に対して、EDP 後任委員および副委員長としてシュ社の福原氏が適当であると判断するが、問題ないかを問い合わせてもらう。

#### A 技術-06-3-2

市川委員、手塚委員の後任候補選出について、引き続き検討を行う。

#### A 技術-06-3-3

（木下および執行部山田）EDP で提案された TR を J-DESC を通じて関係者に紹介し、周知を図るとともに次回 EDP で TR として採用を希望する項目を募る（特に科学推進部会および科学計測部会）。案内の文章は木下が作成し、CDEX の Excel の表とともに執行部経由で J-DESC 部会に転送し、今月中にも返事をもらう（時期については後日調整）。

#### A 技術-06-3-4

(AESTO) 今回 CDEX 伊藤氏より配布（後に回収）された EDP の Proposal Process の正式版を Web より獲得し、EDP メンバーおよび技術部会員など関係者に配布する。

#### A 技術-06-3-5

(AESTO および執行部、木下) USFY09 の ED 提案の提出を広く呼びかける。そのために必要な情報（TR の内容、募集要領、金額など）を Web などに掲載することを検討する。（これは承認されていませんが、どこまでやるか、皆さんに検討をお願いします）。

=====

(参考：第 1 回技術部会の提言およびアクションアイテム)

#### 提言

(前提：本提言は、日本の総意として EDP メンバーにより、次回 EDP 委員会で表明されることとする)

##### R 技術-06-1-1

CDEX による「伊藤提案」が、南海掘削にとっては、また IODP の将来的にも不可欠であり、また長期開発要素を含む。このような技術開発は、IODP の基幹技術として、IODP-MI による SOC により推進されるべきであると提言する。

##### R 技術-06-1-2

CDEX により提出された Engineering Roadmap も、基幹的であると位置づける。EDP による Technology Roadmap にリストアップされるべきであると提言する。その中で、今後の検討により必要なものについては、孔内計測 WG や IO、研究者による検討を行った上で、ED 提案提出の適当なカテゴリーにのっとり、(SOC による開発推進要素として) ED 提案として提出を提言する。

#### アクションアイテム

##### A 技術-06-1-1

(木下部会長) これまで部会で議論された、掘削技術等の技術開発要素をリストアップする。(5 月中)

##### A 技術-06-1-2

(EDP 委員) 前回の EDP で議論された、Technology Roadmap に関する WG の結果作成された、技術開発要素のリストを部会員および CDEX に提出する。(5 月中)

##### A 技術-06-1-3

(CDEX) 今回許氏から提出された ER を、CDEX として必要な項目を網羅するように改訂して、部会員および EDP メンバーに提出する。(5 月中)

##### A 技術-06-1-4

(関係者全員) 上記 1-1~1-3 を可及的速やかに検討し、日本の意向として TR に盛り込むべき項目のリストを作成する。これと上記提言 2 件を英語で作成し、EDP メンバーに託す。

##### A 技術-06-1-5

(関係者全員) 上記 1-4 に基づき、リストの中から ED 提案として適当なものについて検討する（これは議論されていませんし、次回 EDP に間に合わせるべきか、要検討）

##### A 技術-06-1-6

孔内長期モニタリングに関する ED 提案書について、積極的支援を行う。